



各地で水道料金値上げか

「水道使用量の減少で収入減の自治体に負担重く」3月18日の朝日新聞夕刊の記事です。

首都圏では飲み水のペットボトル利用や省エネ家電の節水化などで1世帯あたりの水道使用量が減っています。

しかし、水道使用量は減っているのですがダムから水を買う費用(受水費)が負担となり、神奈川県では4月から水道料金を2割弱値上げするそうです。

同県では水道料金収入は98年度から04年度までの6年間で14億5000万円も落ち込んだといえます。

首都圏ばかりではなく最近では福島市や山形県鶴岡市でも、同じ理由で水道料金の値上げが実施されています。

省エネ家電の進歩には目覚ましいものがあります。

食器の手洗いで約150リットルの水が必要ですが、食器洗い機なら11リットル、ドラム式洗濯機なら従来の1/2の水で済むといえます。

住宅設備機器メーカーのINAXは4月から、洗浄水の使用量をほぼ半減させる便器の新品を発売するそうです。

4人家族の場合、2日でお風呂1杯分の節水効果が期待できるとPRしています。

また、全国清涼飲料工業会では、国内の水のペットボトルの生産量は96年の39万2000キロリットルから、05年には131万9000キロリットルと3倍に増えたと発表しています。(もったいない)

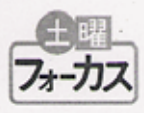
多くの努力によって節水が進み、水道使用量が減ると、値上げせざるをえない。なんと皮肉なことが起こっています。

せめて飲み水くらいは浄水器でつくらないと、ますます水道使用量が減って悪循環になりそうです。

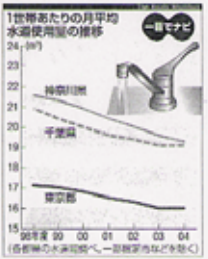
減少 家庭の水道使用

「節水家電」が続々 飲み水は「ペットボトル」

首都圏で家庭での水道使用量が減っている。飲み水をペットボトルに頼る人が増えたほか、家電メーカーは洗濯機などで節水を競合しているからだ。せつか「節水努力をしているのに、神奈川県は4月から家庭用の水道料金を2割弱値上げする。予測に反して水需要が落ち込む中、ダムの水を買う費用(受水費)の負担が重くなるからだといい、



自治体の負担重く 神奈川県、2割弱値上げへ



「夏場の湯水対策もあり、かつては節水をお願していた。水余りを使いたくも言えない」と、神奈川県水道局長の山崎は、水道局の収入が減少していることを嘆息する。山崎は、水道局の収入が減少していることを嘆息する。山崎は、水道局の収入が減少していることを嘆息する。



無駄なダムのツゲが表面化。水道局の収入が減少している。山崎は、水道局の収入が減少していることを嘆息する。

商品開発、欠かせぬ「節水」。節水家電が続々と登場している。洗濯機、トイレ、シャワー、キッチンなど、節水機能が付いた家電製品が増えている。消費者も節水家電を選ぶ傾向が強まっている。



外国の水道水は飲めるか

旅行シーズンの到来です。外国の水道水の状況を参考にしてください。

外国の水道水「生で飲めるかどうか？」		飲める	飲まないほうがいい	×飲めない
都市名(国名)	飲めない理由	都市名(国名)	飲めない理由	
東京(日本)		ナイロビ(ケニア)	殺菌が不十分	
香港		× マニラ(フィリピン)	雑菌	
シンガポール		× ジャカルタ(インドネシア)	汚水、雑菌	
ニューヨーク(アメリカ)		× バンコク(タイ)	汚水、雑菌	
シドニー(オーストラリア)		× カルカタ(インド)	海水混入、雑菌	
ロンドン(イギリス)		× バグダッド(イラク)	雑菌	
パリ(フランス)	かなりの硬水	× カイロ(エジプト)	雑菌、肝炎ウイルス	
ソウル(韓国)	硬水	× メキシコ	雑菌	
北京(中国)	硬水	× サンディアゴ(チリ)	雑菌、かなりの硬水	
クアラルンプール(マレーシア)	殺菌不十分な時あり	× リマ(ペルー)	雑菌、かなりの硬水	
デリー(インド)	殺菌不十分な時あり	× ローマ(イタリア)	かなりの硬水	